

認定書

国住指第 3807 号
令和 2 年 3 月 13 日

シーシーアイ株式会社
代表取締役社長 岡部 鉄也 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-1106
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／熱膨張材・合成ゴム系発泡体／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／熱膨張材・合成ゴム系発泡体／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形 (ϕ 153mm以下)
	面積	0.0184m ² 以下
占積率 (開口面積に対する被覆材付配管の断面積の 総合計の割合)		85.8%以下
被覆材付配管と床との隙間の寸法 (クリアランス)		5～13.5mm
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 100mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様		
被覆材	材料	無機質混入樹脂シート・ウレタンフォーム積層材		
	使用箇所	直管及び管継手の外層被覆材		
	処理方法	床上及び床下から300mm以上被覆		
	表面材	材料	仕様：あり又はなし 種類：①又は② ①ポリエステル系樹脂(ポリエチレンテレフタレート等) ②ポリ塩化ビニル系樹脂	
		厚さ	70(±30)μm	
	樹脂シート	材料	種類：①又は② ①無機質混入オレフィン系樹脂(表面材は①又は②) ②無機質混入ポリ塩化ビニル系樹脂(表面材は①又は②)	
		組成 (質量%)	①無機質混入オレフィン系樹脂 オレフィン系樹脂(ポリプロピレン等)	23(±7)
			無機充てん材(硫酸バリウム等)	77(±7)
		②無機質混入ポリ塩化ビニル系樹脂 ポリ塩化ビニル系樹脂	25(±7)	
			無機充てん材(硫酸バリウム等)	75(±7)
厚さ	1(±0.2)mm			
密度	2.3(±0.2)g/cm ³			
基材	材料	ウレタンフォーム		
	厚さ	5(±1)mm		
	密度	50(±5)kg/m ³		
貫通部材	保護テープ	材料	アルミニウム箔・ガラスクロステープ(アクリル粘着剤付)	
		厚さ	アルミニウム箔 0.02(±0.002)mm ガラスクロス 0.11(±0.02)mm	
	寸法	上部	幅 50(±10)mm、長さ 470mm以下 (開口径に応じた長さとする)	
		下部	幅 75(±10)mm、長さ 470mm以下 (開口径に応じた長さとする)	
	保持部材	材料	鋼板	
		厚さ	0.5(±0.1)mm	
寸法		幅 50(±5)mm、長さ 460mm以下 (開口径に応じた長さとする) ※30×40mmの角穴を5mm間隔で抜く		
熱膨張材	本体	材料	熱膨張黒鉛・ほう酸混合物	
		質量	55g/m	
		組成 (質量%)	熱膨張黒鉛 55(±5) ほう酸 45(±5)	
	上部内側 (包装材)	材料	オレフィン系樹脂	
		厚さ	30(±5)μm	
	寸法	幅 30(±5)mm、長さ 490mm以下 (開口径に応じた長さとする)		
	下部外側 (包装材)	材料	オレフィン系樹脂	
厚さ		30(±5)μm		
寸法	幅 30(±5)mm、長さ 490mm以下 (開口径に応じた長さとする)			

つづく

つづき

貫通部材	支持部材	材料	鋼板
		厚さ	0.8(±0.1)mm
		寸法	幅 10(±5)mm、長さ 140(±15)mm
		数量	2個
目地材	材料	合成ゴム (EPDM) 系発泡体	
	寸法	大きさ 25×35(±5)mm、長さ 480mm以下 (開口径に応じた長さとする)	

表3 配管の仕様

項目		仕様	
配管	直管 (立て管・横枝管)	材料	種類：①、②又は③ ①硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741、記号：VP) ②水道用硬質塩化ビニル管 (JIS K 6742、記号：VP) ③耐熱性硬質塩化ビニル管 (JIS K 6776、記号：HT)
		外径	φ18～114mm
		厚さ	7.1mm以下 (記号：VP、HT)
	管継手	材料	仕様：あり又はなし 種類：①又② ①排水用硬質塩化ビニル管継手 (JIS K 6739、記号：DV) ②水道用硬質塩化ビニル管継手 (JIS K 6743、記号：TS)
		受口外径	φ124mm以下 (記号：DV) φ102mm以下 (記号：TS)
		厚さ	4.3mm以下 (記号：DV)
			6.2mm以下 (記号：TS)

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目		仕様	
ジョイントテープ	材料	オレフィン樹脂フィルム (ゴム系粘着剤付)	
	組成 (質量%)	オレフィン樹脂 (ポリエチレン等)	1.5(±1)
		ゴム系粘着材 (ブチル系ゴム等)	98.5(±1)
	寸法	厚さ 1(±0.3)mm、幅 40(±5)mm	

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1～図4に示す。

単位 mm

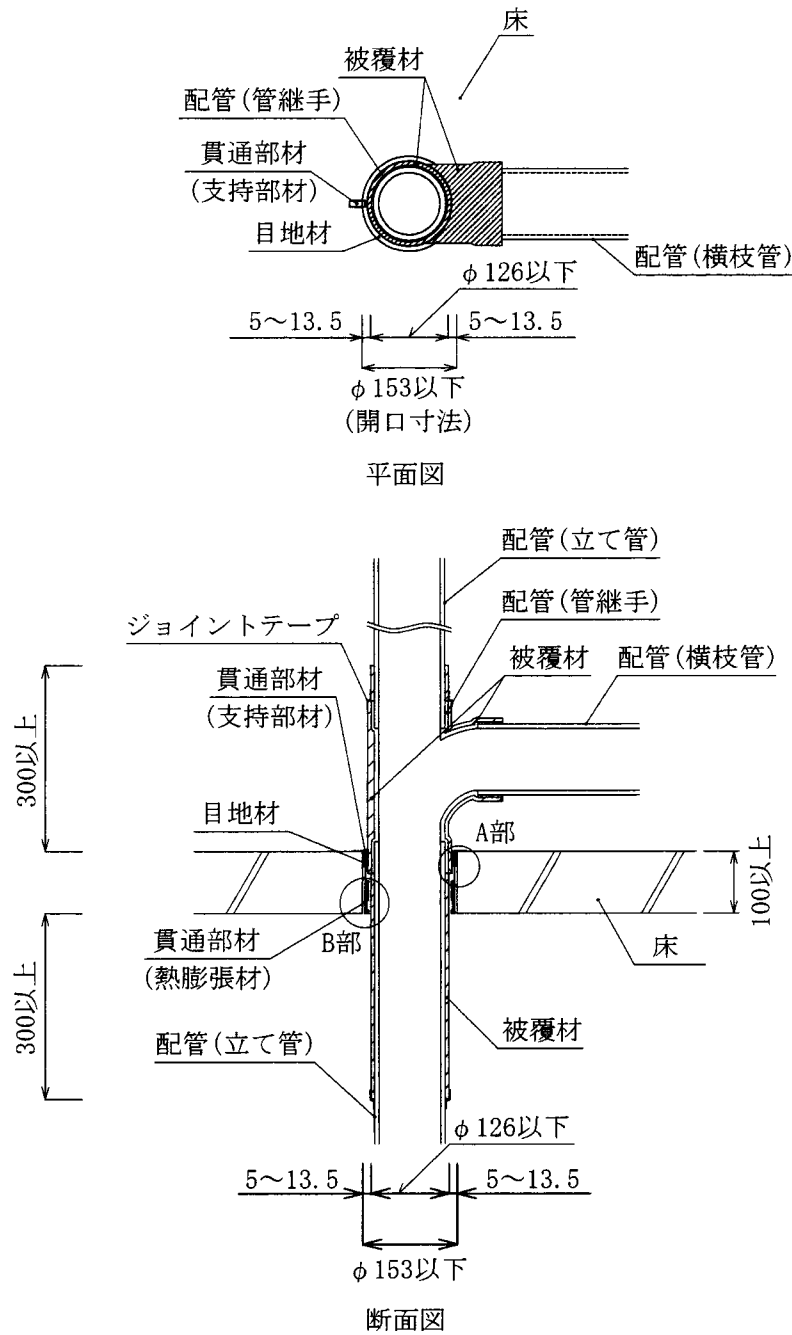


図1 構造説明図(施工図)

単位 mm

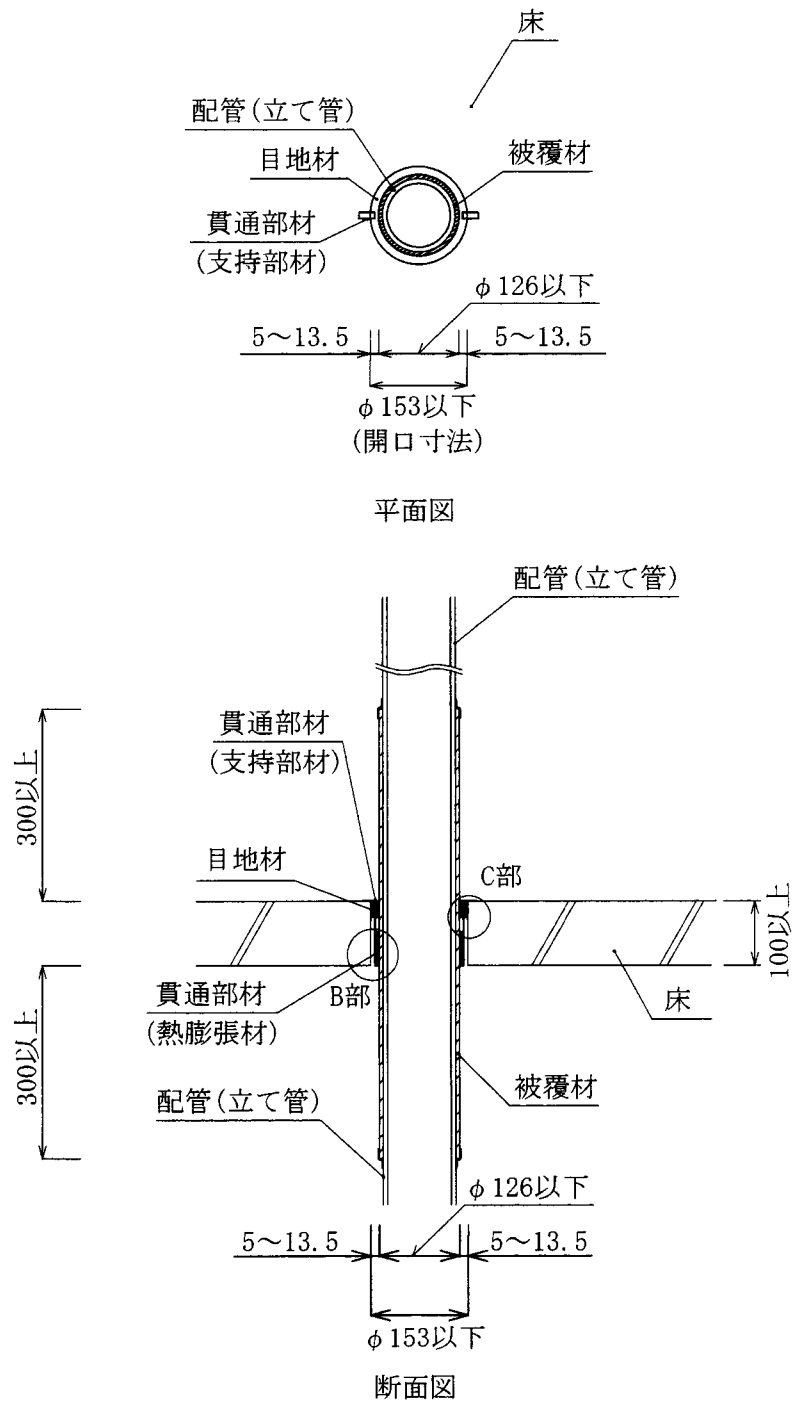


図2 構造説明図(施工図)

単位 mm

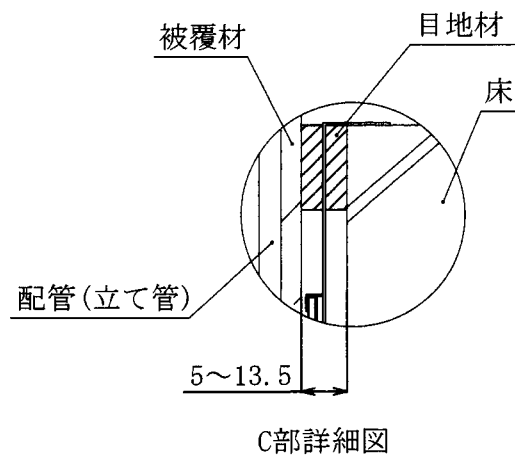
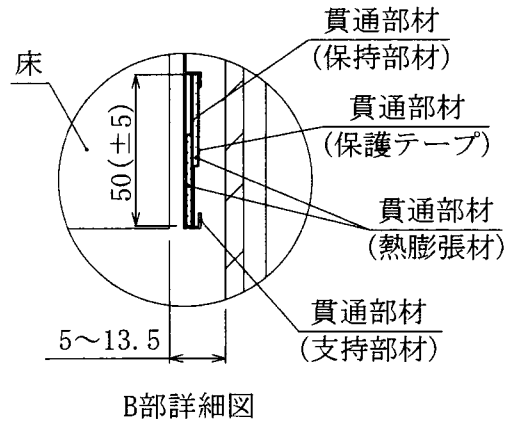
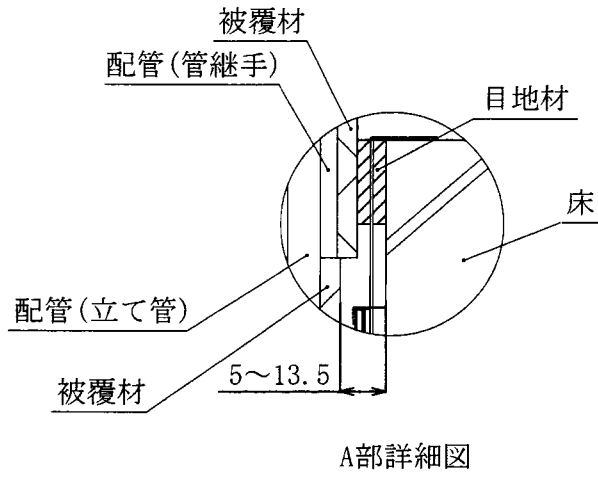
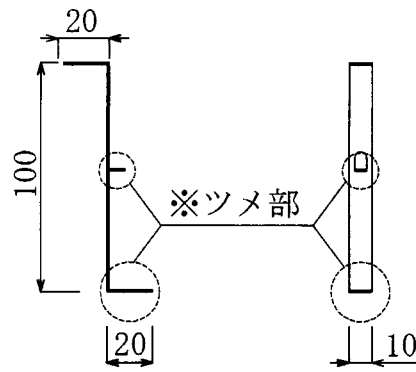
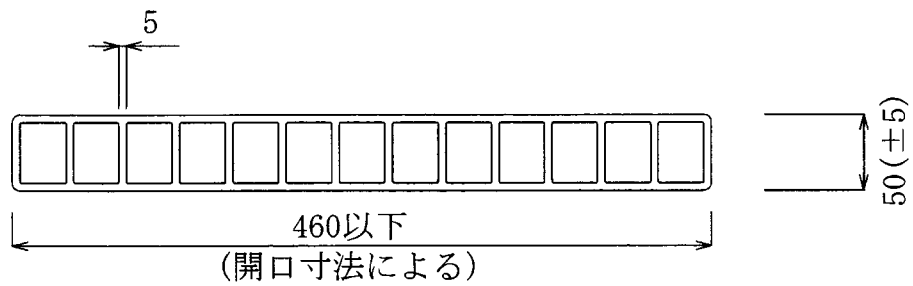


図3 構造説明図(施工図)



※ツメ部を折り曲げてB部詳細図(図3)に示すように他の部分
(熱膨張材・保護テープ・保持部材)を開口部内に固定する

支持部材



保持部材

貫通部材を構成する部品の詳細図：支持部材及び保持部材

図4 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 直管に施工する方法

- ①被覆材付配管の設置を行い、支持・固定する。
その際、防音排水管の被覆材長さは、床の上下面から 300mm 以上であることを確認する。
- ②床上側の被覆材の端部はジョイントテープで1周以上覆う。
- ③貫通部材を被覆材付配管に巻き付け、床内部に挿入する。
- ④開口部と被覆材付配管の隙間に目地材を入れる。

(2) 管継手に施工する方法

- ①被覆材付配管(床下)の設置を行い、支持・固定する。
その際、被覆材付配管(床下)の被覆材長さは、床の下面から 300mm 以上であることを確認する。
- ②貫通部材を被覆材付配管(床下)に巻き付け、床内部に挿入する。
- ③被覆材付管継手を、床内部に挿入する。
その際、被覆材付配管(床上)の被覆材長さは、床の上面から 300mm 以上であることを確認する。
- ④開口部と被覆材付管継手の隙間に目地材を入れる。